

富裕層の意志ある資産を社会に生かす

## 新しいフィランソロピーを発展させるエコシステムに関する調査

本調査報告書は、グローバルに発展している「新しいフィランソロピー」を、日本の富裕層の方々が中心となって実践していく上で求められるエコシステム（環境、仕組み、プレイヤー等）を、内外の文献調査と日本の関係者に対するインタビューを通じて明らかにすることを試みたものです。

私たちは「新しいフィランソロピー」を、多様な資金提供手法と活動を駆使して社会的インパクトの実現を目指すフィランソロピーと定義しました。これは、寄付・助成だけでなく社会性と経済性の両方を追求するインパクト投資や融資などの手法を積極的に活用しようという点で、伝統的なフィランソロピーとは異なるものです。

世界では、このような「新しいフィランソロピー」が共助を促進し、イノベーションを加速させています。公共部門のリソースが不足する現在の日本社会にも、まさにこうした、民間の潤沢な資金と日々進化するビジネスの手法を活用した新しいフィランソロピーへの期待が高まっています。

\* \* \*

### >> フィランソロピー活動を始めたいとお考えの皆様へ

世界の富裕層の総資産は 74 兆ドルと言われており、その 4% が SDGs 関連の投資に向かえば、SDGs 目標達成のための資金ギャップが解消します。また富裕層の方々の多くはビジネスでの成功体験も豊富であり、ビジネスの視点を社会課題解決のために活かすことができます。これらの点で富裕層が担う役割は重要です。「新しいフィランソロピー」について、海外での動向をご紹介するとともに（p25 第2章）、日本のフィランソロピストの方々の事例をご紹介しています（p55 第4章）。

### >> 富裕層のフィランソロピー活動を支援するプライベート・バンカー、弁護士、会計士、税理士等の皆様へ

富裕層の資産運用や管理等を包括的に支援される皆様は、日頃からフィランソロピー実践に関するご相談を受けておられる方も多いことでしょう。そのような皆様には、ぜひ、全体を通してご一読いただければ幸いです。特に、「新しいフィランソロピー」について、海外での動向のご紹介（p25 第2章）、日本の関係団体や組織へのヒアリング（p43 第3章）、日本のフィランソロピストによるフィランソロピー事例のご紹介（p55 第4章）は、皆様の日々の業務にお役立ていただけると考えます。

### 本書公開にあたって、Rockefeller Philanthropy Advisors よりメッセージ

フィランソロピーは世界中のファミリーレガシー（伝統や遺産）を豊かにダイナミックに築き上げ、さまざまな文化や構造、アプローチ、モチベーションをもたらします。この活動を支えるには、強力なフィランソロピーのエコシステムの存在が欠かせません。私たちは、日本のフィランソロピーが引き続き進化し、その影響力が拡大することで、世界のフィランソロピーネットワークがさらに充実していくことを期待しています。（p2「メッセージ」より抜粋）

\* Rockefeller Philanthropy Advisors と SIF は、日本での新しいフィランソロピーの推進においてパートナーシップを結んでいます。

## 第1章 進化するグローバル・フィランソロピーと富裕層の役割

グローバル・フィランソロピーの発展とそこでの富裕層の役割を分析。欧米の事例を中心に活動や事例を紹介しています。

## 第2章 新しいフィランソロピーのエコシステム

海外における富裕層のフィランソロピー活動についての既存の調査結果を概観し、富裕層のフィランソロピー活動のプロファイリングを試みました。これを踏まえ、新しいフィランソロピーのエコシステムに重要な以下の3つを事例とともに分析しています。

### ① 寄付・投資ビークル

例：ドナー・アドバイズド・ファンド (p30)、シリコンバレー・コミュニティ財団 (p31)、チャリティ・エイド財団 (p32)、pymwymic (p33)、インパクト・アセット (p34)

### ② アドバイザリー・サービス

例：UBSグローバル・フィランソロピー (p37)、ロックフェラー・フィランソロピー・アドバイザーズ (p38)、フィランソロピーインパクト (p39)

### ③ 支援ネットワーク

例：Synergos 財団の Global Philanthropist Circle (p40)、21/64 (p41)、Toniic (p42)

## 第3章 日本のフィランソロピーの現状と課題

日本のプライベートバンカー、士業、公益セクター (p46) の方々に富裕層向けフィランソロピー・サービスの現状と課題についてヒアリングをした結果をまとめました。プレイヤー毎の新しいフィランソロピー発展に向けての諸課題の整理は p54 参照。

## 第4章 日本における新しいフィランソロピー

日本において新しいフィランソロピー活動に取り組んでいる、起業家、金融関係者、ファミリー・ビジネス関係者などのユニークな事例を紹介します。

池森 賢二 | 池森ベンチャーサポート合同会社代表「池森ベンチャーサポートを通じた新たな挑戦」

井上 高志 | 株式会社 LIFULL 代表取締役・社長執行役員「利他主義をキーワードに多彩な企業・財界・公益活動を展開」

笠原 健治 | 株式会社ミクシイ取締役会長「ビジネスから生まれたフィンソロピー『みてね基金』」※プリント版のみに掲載

久能 祐子 | S&R 財団理事長、京都大学理事「レジデンシャル・インキュベータを通じた起業家支援」

末松 弥奈子 | 株式会社ジャパントイムズ会長兼社長「ファミリー・ビジネスを通じた多様な貢献」

孫 泰蔵 | Mistletoe 創業者「Mistletoe を通じたスタートアップ支援」

野宮 博 | クロスポイント・アドバイザーズ代表取締役「プライベートエクイティのプロフェッショナルによる新しいフィランソロピー・モデル」

## 第5章 新しいフィランソロピーのエコシステム構築に向けて

海外調査や日本のフィランソロピストの方々の意見を総括し、日本において求められる新しいフィランソロピーのエコシステムを描きました。